

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成21年度の畜産環境汚染の発生は、22件と前年に比べ3件増加した。
原因別では「悪臭発生」に関するものが最も多く、発生件数全体の68%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	17年度	19年度	20年度	21年度
悪臭発生	43	52	14	7	4	9	11
水質汚濁	25	19	1	4	3	2	3
水質・悪臭	11	8	2	0	5	7	2
悪臭・害虫	16	6	2	2	3	1	2
害虫発生	21	19	0	0	1	0	3
道路飛散	5	7	0	0	1	0	1
計	121	111	19	13	17	19	22

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	17年度	19年度	20年度	21年度
豚	65	50	9	7	11	8	8
乳用牛	30	25	0	1	0	3	1
肉用牛	4	5	1	1	3	8	10
採卵鶏	21	23	9	2	3	0	3
ブロイラー	1	1	0	2	0	0	0
その他(馬)	0	7	0	0	0	0	0
計	121	111	19	13	17	19	22

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

飼養規模別件数(畜種別合計の平成21年度内訳)

(単位：件)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫	道路飛散
豚	1～49頭	1					
	50～499頭	3			1		
	500～999頭						
	1,000頭以上		2				1
牛	1～19頭	2	1			1	
	20～29頭						
	30～49頭						
	50～99頭				1		
	100頭以上	3		2		1	
採卵鶏	1～4,999羽						
	5,000～9,999羽	1		1			
	10,000羽以上	1					
ブロイラー	1～9,999羽						
	10,000～29,999羽						
	30,000～49,999羽						
	50,000～99,999羽						
	100,000羽以上						
その他							
計		11	3	3	2	2	1

資料：県畜産課調査